

“備え”あつての安心ライフ

パートやアルバイトの方などが、社会保険に加入するための要件が変わります。
そもそも社会保険って、加入した方がよいのでしょうか？

広がるパートの 社会保険加入

生活経済ジャーナリスト
森本光由希



社会保険加入の 要件が変わります

以前、パートやアルバイトの方の中には「年130万円を超えないように働く」という方がたくさんいました。年収が130万円以内なら、親や配偶者の健康保険・厚生年金の扶養となり、保険料を負担せずに済んだからです。

しかし、2016年10月から少しずつ変わってきました。常時500人超を雇う企業では、週20時間以上働き、月収8万8千円以上で学生でないといった条件を満たす人に、会社の健康保険・厚生年金への加入が義務化されたからです。月収8万8千円なら年収は約106万円。年収を106万円までに抑えるか、保険を自己負担し「106万円の壁」を超えて働くか。後者を選択する人が増えてきたのです。

その後、2017年4月には従業員数に関わらず労使の合意があれば、そして、2022年10月からは従業員数100人超の企業に、さらに、2024年10月からは50人超にと会社の健康保険・厚生年金への加入要件が広がります（下表参照）。しかも、雇用期間について「継続して1年以上雇われる見込み」から「継続して2カ月超」に短縮されますから、該当者が増える予想されています。

今、パートやアルバイトとして働いている方は、人ごとではないでしょう。

パートなど短時間労働者の 健康保険・厚生年金保険の加入条件

要件	2016年10月～(現行)	2022年10月～	2024年10月～
事業所の規模	常時500人超	常時100人超	常時50人超
労働者	労働時間	週の所定労働時間が20時間以上	
	賃金	月額88,000円以上	
	雇用期間	継続して1年以上の見込み	継続して2カ月超の見込み
	適用条件	学生ではないこと	

社会保険加入への ハードルとは？

社会保険加入に対する大きなハードルは、これまで親や配偶者の扶養範囲内だと必要なかった保険料が発生することです。「なんとなく高そう」ですが、いくらのなのでしょう。

健康保険と厚生年金、40歳以上に必要な介護保険の保険料を試算し、合わせると、年収106万円では月約1万3千円です（東京都在住で協会けんぽ加入を想定・以下同）。月収8万8千円から引かれるのは痛手ですが、時給1千円なら月13時間、保険料分余計に働くことを考えてみてはいかがでしょうか。

次に年収130万円だと配偶者の扶養範囲を超えるので会社の健康保険・厚生年金が、国民健康保険・国民年金のどちらかに加入しなければなりません。保険料は会社の健康保険・厚生年金が月約1万6千500円で、国民健康保険・国民年金だと月約2万5千円です。労使折半の健康保険・厚生年金の方が負担は軽いので、将来的に130万円を超えて働くことを目指す方は会社の健康保険・厚生年金の加入がおすすめです。

社会保険加入の メリットは？

一方、最大のメリットは老後の年金が増える

こと。国民年金だと満額でも月約6万5千円ですが、厚生年金に加入し保険料を納めれば基礎年金に「報酬比例部分」が上乗せされます。

上乗せ額は、収入額や保険料を支払った期間によります。年収106万円なら、1年間の加入で月450円、10年間の加入で月4千500円の上乗せです。「たったそれだけ」と思ってもいいかもしれませんが、一生続くのが大きいのです。

年収106万円の人の厚生年金保険料は月約8千100円ですから、加入期間が10年間だと支払う保険料の総額は約97万円。年金を65歳から85歳までの20年間受け取ったとすると、基礎年金に108万円上乗せされます。長生きするほど、払った保険料より多くを受け取れるので、老後の安心につながります。

さらに遺族年金や障害年金も、国民年金より手厚い制度があります。健康保険の面でも、病気などで仕事を休んだ場合、最長1年半の間、給与の約3分の2が受け取れる「傷病手当金」や、産休期間に給与の約3分の2が受け取れる「出産手当金」など、保障が充実しています。

会社の健康保険・厚生年金への加入は、長い人生を考えるとお得な選択だと思います。とはいえ、働ける時間に制限があるなどの事情もあるでしょう。いざ制度が変わるときに慌てないように、今から考え始めましょう。

増える報酬比例部分の年金額の目安

老齢基礎年金(満額の場合) 月約65,000円

+

上乗せされる報酬比例部分の年金月額目安

年収 加入 期間	120万円	150万円	200万円	250万円	300万円
1年	500円	600円	800円	1,000円	1,300円
5年	2,500円	3,200円	4,300円	5,100円	6,600円
10年	5,000円	6,400円	8,700円	10,200円	13,300円
15年	7,500円	9,600円	13,000円	15,300円	20,000円

年金保険料の目安

保険料月額	9,000円	11,600円	15,600円	18,300円	23,800円
-------	--------	---------	---------	---------	---------

(参考)

106万円

450円

2,250円

4,500円

6,750円

8,100円

出典：厚生労働省・日本年金機構「社会保険適用拡大ガイドブック」



スマホは、
こちら



「働きたい」なら制限なくして働こう！
保険料分以上、それよりもっと稼ぐチャンスだ

マネー
格言



森本 光由希 もりもと みゆき

生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー。暮らしに役立つ金融・経済の情報をメインテーマとして、幅広い分野で取材執筆活動を行っている。生活に根差したお金の問題を「生活者と同じ目線・経済感覚」でわかりやすく、使える情報として発信することがモットー。

メールマガジン会員募集中！

保険に関する身近な情報はじめ、提携施設の期間限定キャンペーンなど、お得な情報を充実したラインナップでお届けします！
ご登録がお済みでない方はこの機会にご登録ください。

アドレス https://www.yuseifukushi.or.jp/jp_member/mailmag/